

事例42

< 事例概要 >

その他

- ① 60 歳代、肺炎、心房細動、脳梗塞後廃用症候群、JCS II -10 の患者。
- ② 中心静脈ポートを造設したため、前医で右大腿静脈から挿入した中心静脈カテーテルを抜去予定。
- ③ BMI 18.1 kg/m²。抗血栓薬の使用は不明。
- ④ 何度か抜去を試みたが抵抗あり。X線でカテーテル内にガイドワイヤーが残存し、右室内でループして先端が上大静脈にあることが判明。透視下でループを解除し、抜去。その直後に心肺停止となり、超音波で心嚢液を認めた。抜去から約4 時間後に死亡。
- ⑤ 死因は、右心室前面の裂創による心タンポナーデ。死亡時画像診断（Ai）有、解剖有。